

平成 21 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 日本アンテナ株式会社
代表社名 代表取締役社長 瀧澤 豊
(JASDAQ・コード6930)
問合せ先 取締役管理本部長 宇波 浩
電話 03-3893-5221

(訂正・数値データ訂正あり)
「平成 21 年 3 月期 第 3 四半期決算短信」の一部訂正について

平成 21 年 2 月 9 日に発表いたしました「平成 21 年 3 月期 第 3 四半期決算短信」の記載内容について一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。

なお、訂正箇所は下線を付して表示しております。

記

1. 2 ページ

【訂正前】

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(省略)

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 製品製造事業

当事業部門におきましては、テレビ受信用アンテナは、地上デジタル放送用に開発した薄型アンテナの販売が好調に推移したこと等により前年同期比増収となりました。車載用アンテナにつきましては、自動車販売の不振や自動車メーカーの大幅な減産の影響等により、前年同期比大幅な減収となりました。通信用アンテナにつきましては、携帯電話販売方式の変更や販売先の携帯事業からの撤退の影響等により前年同期比減収となりました。

また、映像通信用電子機器につきましては、CATV関連機器の販売が伸び悩み前年同期比減収となりました。

これらの結果、売上高は 16,501 百万円（前年同期比 6.6%減）となり、営業利益については 859 百万円（同 23.6%減）となりました。

② 工事事業

当事業部門におきましては、新築ビル内工事、携帯電話用基地局工事が減少したものの、地上デジタル放送改修工事の増加および再開発関連工事の好調等により売上高は 4,023 百万円（同 0.2%増）となり、営業利益は 143 百万円（同 11.7%減）となりました。

(省略)

【訂正後】

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(省略)

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 製品製造事業

当事業部門におきましては、テレビ受信用アンテナは、地上デジタル放送用に開発した薄型アンテナの販売が好調に推移したこと等により前年同期比増収となりました。車載用アンテナにつきましては、自動車販売の不振や自動車メーカーの大幅な減産の影響等により、前年同期比大幅な減収となりました。通信用アンテナにつきましては、携帯電話販売方式の変更や販売先の携帯事業からの撤退の影響等により前年同期比減収となりました。

また、映像通信用電子機器につきましては、CATV関連機器の販売が伸び悩み前年同期比減収となりました。

これらの結果、売上高は16,501百万円(前年同期比6.6%減)となり、営業利益については855百万円(同23.8%減)となりました。

② 工事事業

当事業部門におきましては、新築ビル内工事、携帯電話用基地局工事が減少したものの、地上デジタル放送改修工事の増加および再開発関連工事の好調等により売上高は4,023百万円(同0.2%増)となり、営業利益は146百万円(同9.7%減)となりました。

(省略)

2. 7ページ

【訂正前】

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	102,831
減価償却費	639,091
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,031
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	20,464
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,190
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△251,833
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	82,848
受取利息及び受取配当金	△50,777
為替差損益 (△は益)	2,255
固定資産処分損益 (△は益)	△15,652
固定資産圧縮損	82,936
事業再編損失	118,359
売上債権の増減額 (△は増加)	2,584,231
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△250,030
仕入債務の増減額 (△は減少)	△974,832
その他	△218,624
小計	<u>1,880,489</u>
利息及び配当金の受取額	47,362
法人税等の支払額	△349,797
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>1,578,054</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△200,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△831,203
有形及び無形固定資産の売却による収入	128,699
投資有価証券の取得による支出	△18,670
貸付けによる支出	△1,519
貸付金の回収による収入	22,912
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△899,781</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△213,460
配当金の支払額	△286,445
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△499,905</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63,620
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	<u>114,746</u>
現金及び現金同等物の期首残高	7,250,290
現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>7,365,036</u>

【訂正後】

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

		当第3 四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益		102,831
減価償却費		639,091
投資有価証券評価損益 (△は益)		4,031
退職給付引当金の増減額 (△は減少)		20,464
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)		5,190
賞与引当金の増減額 (△は減少)		△251,833
貸倒引当金の増減額 (△は減少)		82,848
受取利息及び受取配当金		△50,777
為替差損益 (△は益)		2,255
固定資産処分損益 (△は益)		△15,652
固定資産圧縮損		82,936
事業再編損失		118,359
売上債権の増減額 (△は増加)		2,584,231
たな卸資産の増減額 (△は増加)		△250,030
仕入債務の増減額 (△は減少)		△974,832
その他		△217,968
小計		1,881,145
利息及び配当金の受取額		47,362
法人税等の支払額		△349,797
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,578,710
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出		△200,000
有形及び無形固定資産の取得による支出		△831,203
有形及び無形固定資産の売却による収入		128,699
投資有価証券の取得による支出		△18,670
貸付けによる支出		△1,519
貸付金の回収による収入		22,912
その他		△3,385
投資活動によるキャッシュ・フロー		△903,167
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出		△213,460
配当金の支払額		△286,445
財務活動によるキャッシュ・フロー		△499,905
現金及び現金同等物に係る換算差額		△63,620
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		112,016
現金及び現金同等物の期首残高		7,250,290
現金及び現金同等物の四半期末残高		7,362,306

3. 8 ページ

【訂正前】

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)				
	製品製造事業 (千円)	工事事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	16,501,410	4,023,090	20,524,500	—	20,524,500
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	16,501,410	4,023,090	20,524,500	—	20,524,500
営業利益	<u>859,180</u>	<u>143,248</u>	1,002,429	(865,607)	136,821

【訂正後】

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)				
	製品製造事業 (千円)	工事事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	16,501,410	4,023,090	20,524,500	—	20,524,500
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	16,501,410	4,023,090	20,524,500	—	20,524,500
営業利益	<u>855,976</u>	<u>146,453</u>	1,002,429	(865,607)	136,821

以上